

第4期上田市教育支援プラン（案）の趣旨・目的・背景

児童生徒を取り巻く状況は、先行き不透明で予測が困難な未来に向け、新しい価値や時代を創造する資質能力が求められており、これまでの知識やスキルの習得に偏重した教育を見直す必要があります。置かれた状況や目の前の事象から、自ら課題や問いを見出し、その解決を目指して、仲間や様々な他者と協働しながら新たな価値を創造する力を育成することが今後の学校教育に求められています。

また、児童生徒一人ひとりの能力を最大限に引き出すためには、それぞれの状況や特性に応じた学びを推進していくことが必要であり、ICT機器の効果的な活用等を含め、教員の指導力・資質の向上が求められています。

しかしながら、人口減少や社会の多様化が進み、発達特性や不登校など、子どもが抱える困難が多様化、複雑化し、様々な環境に置かれた子ども一人ひとりに合わせた教育を行うことが求められる中、学校だけでこのような課題に対応することが困難になっており、学校、家庭、地域の連携を一層強化していく必要があります。

これらの教育課題等を踏まえ、上田市は、上田市教育大綱の基本理念である「燦(さん)と輝く上田の未来を紡(つむ)ぐ人づくり」を実現するため、令和3年に、令和7年度を目標年度とする第3期上田市教育支援プランを策定し、学校・家庭・地域の住民等の連携の下、教育行政を推進してきました。

令和7年度末の第3期上田市教育支援プランの期間終了を控え、社会情勢の変化や今日的な課題に対応し、未来を生き抜く子どもたちの育成に向け、本計画の上位計画である「第三次上田市総合計画 前期まちづくり計画」及び「上田市教育大綱」の主旨を踏まえながら、改めて本市の教育政策の方向性を示すものとして、ここに、第4期上田市教育支援プランを策定します。